

(3) 太郎右衛門自然再生地の水収支

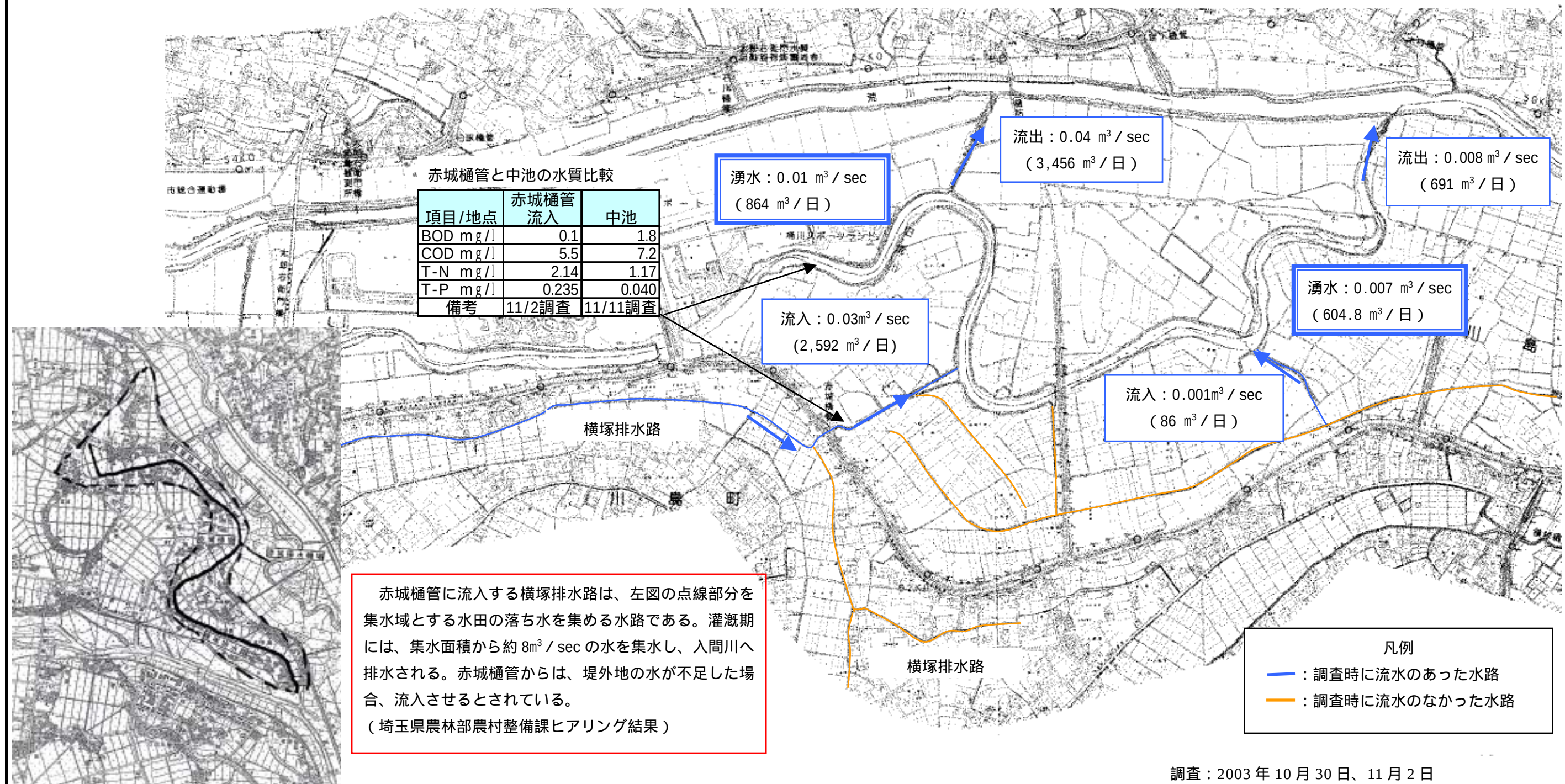
太郎右衛門自然再生地の池への表層水の供給について非灌漑期（農業用水の使用がない時期）の状況を調査した。また調査の時期は渇水期であるため、この値が現状の水供給の最低水量となると考えられる。結果は下記のようにになっている。

上池には水の流入はない。

中池には赤城樋管からの流入が非灌漑期で、 $0.03\text{m}^3/\text{sec}$ ($2,592\text{ m}^3/\text{日}$)ある。中池からの流出は $0.04\text{ m}^3/\text{sec}$ ($3,456\text{ m}^3/\text{日}$)であり、 $0.01\text{ m}^3/\text{sec}$ ($864\text{ m}^3/\text{日}$)は湧水によるものと考えられる。

下池も中央部の水路から流入があるが流量は $0.001\text{m}^3/\text{sec}$ ($86\text{ m}^3/\text{日}$)と少ない。下池の流出は $0.008\text{ m}^3/\text{sec}$ ($691\text{ m}^3/\text{日}$)となっており、この差分 $0.007\text{ m}^3/\text{sec}$ ($604.8\text{ m}^3/\text{日}$)は中池と同様に湧水によるものと考えられる。

非灌漑期の赤城樋管からの流入水の水質は、BOD 0.1mg/l 、COD 5.5mg/l と中池水質 BOD 1.8mg/l 、COD 7.2mg/l と低く、家庭雑排水等の流入は無いものと考えられる。但し総窒素（T-N） 2.14mg/l 、総リン（T-P） 0.235mg/l で中池の総窒素（T-N） 1.17mg/l 、総リン（T-P） 0.04mg/l と比べ高い。これは横塚排水路が田畑の落ち水を集水していることから、農地由来のものであると考えられる。



調査：2003年10月30日、11月2日
及び12月22日（流量観測）